

## 第2回下野市行政改革推進委員会 会議録

日 時 平成28年10月6日(木) 午後1時30分～3時30分  
場 所 下野市役所203会議室  
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、関口博之委員、水上美紀委員、長光博委員、  
大木徳委員、園部小由利委員、中林佳子委員  
欠席委員 小久保武委員、飯野洋委員  
事務局 長総合政策部長、古口主幹、猪瀬副主幹、舘野主事  
傍聴者 なし

### ○次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 会議録署名人の指名
  - (2) 第1回下野市行政改革推進委員会会議録の確認について
  - (3) 行政評価市民評価10事業の選定について
  - (4) その他
- 4 閉会

### ○開会

(事務局) 平成28年度第2回下野市行政改革推進委員会を開会いたします。

### ○あいさつ

(杉原会長) みなさん、こんにちは。しばらく雨が続いておりましたが、急に暑くなりました。お天気に非常に恵まれてよろしいのですが、この良い天気の中、委員の皆様には長時間会議をしていただくこととなりまして、たいへん申し訳ない気持ちでいっぱいですが、ひとつよろしくお願いをいたします。

### ○議事

#### (1) 会議録署名人の指名

(杉原会長) 今回の会議録署名委員を指名します。名簿順で、長委員、大木委員にお願いいたします。

#### (2) 第1回下野市行政改革推進委員会会議録の確認について

(杉原会長) 前回会議録の確認について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 会議録ですが、事前に委員の皆様へ郵送で配付し確認していただいたところ、飯野委員より修正依頼があり、修正したものを委員の皆様へお配りし

ております。他にご意見等なければ確定とさせていただき、会長と署名人の委員に署名をお願いしたいと考えております。

(杉原会長) 改めて修正意見があれば、この場で発言をお願いいたします。ないようです。この内容で確定し公表させていただきます。

### (3) 行政評価市民評価10事業の選定について

(杉原会長) 行政評価市民評価について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 資料1～4に基づき説明

➤委員の皆様には事前に資料を送付させていただき、すでに評価対象事業の選定を行っていただいたことと思っておりますが、それでは、改めて市民評価対象事業について説明させていただきます。

➤それでは、資料1上段をご覧ください。下野市の総事業数は658事業ありました。そのうち、市民評価対象事業の条件としまして、①第二次総合計画前期基本計画に位置付けられている事業、その事業と明らかに直結的な事業、②平成29年度の事業費が原則500万円以上の事業、③法令等で義務付けられている事業や政策的な判断を伴わないなど、市としての裁量の余地が少ない事業は対象外、の3条件を基に抽出した結果、今回の市民評価対象事業は236事業でありました。

➤その下の『選定方法』ですが、①に記載のとおり、本日は、一覧表をもとに市民評価対象事業として各委員が事前に10事業程度選んできていただいたものを、協議・検討し、委員会としての10事業の選定を行っていただきたいと思っております。選定にあたっては、②の記載のとおり、多くの事業について市民評価を行っていただく観点から市民評価未実施事業を優先していただくこととし、前年度市民評価対象事業については原則として選定対象外としていただきたく、一覧表には参考としまして過去3年(25・26・27年度)の市民評価実施事業を表示させていただいております。また、③として、一つの部署に極端に片寄らないようにということで、一番下に、部ごとの対象事業数を掲載させていただきました。

➤裏面をご覧ください。上段に一覧表の見方について記載してあります。その中で、④事務事業評価(内部評価)につきましては、評価途中であり、今後、総合評価が変更となる可能性もありますので、変更があった場合は通知させていただきます。

➤下段の『3. 事務事業評価(内部評価)について』ですが、今年2月の委員会で提示させていただいたものから変更がありましたので、ここで説明させていただきます。

類型区分としまして、あらかじめ、総合計画に位置付けられた施策ごとにⅠからⅢの区分で設定しております。Ⅰは積極的推進、Ⅱは継続的推進、Ⅲは事業費や内容等精査し効率的に推進して行くという意味で、効率的推進としております。

次に、評価の3つの観点である必要性、緊急性、効率性ではありますが、それぞれ、A・B・Cにより評価をしております。資料4をご覧ください。

➤必要性についてですが、事務事業の必要性を判断する際には、当該事業が総合計画基本計画に明確に位置づけられているか、あるいは、この事業に対応した施策が明確に基本計画に記載されているか、また、総合計画基本計画の策定後に、当該事業の実施が求められるような社会経済情勢の変化があるかどうかを判断基準としています。

A評価として、『第二次下野市総合計画前期基本計画に明確に位置付けられている場合、事

業実施が求められるような社会情勢の変化、さらに国・県の制度変更により実施することが義務付けされた場合など』、B評価として、『事業に対応した施策等が第二次下野市総合計画前期基本計画で明確に読み取れる場合、国・県の制度変更はないが、引き続き必要性がある場合など』、それ以外をC評価としております。

➤緊急性についてですが、事務事業の緊急性を判断する際には、新規事業の場合は、着手・実施の見通しはあるか、事業進捗の阻害要因があるか、継続事業の場合は、現行レベルを継続するうえで事業進捗に相当な影響を及ぼす新たな障害がないか、また、事業を休止・縮小することが可能かという観点も判断基準としています。

A評価として、『【継続事業の場合】は、事業進捗に対する影響等を考慮し、事業を休止した場合の影響が大きく、事業縮小の可能性が見当たらない場合など。【新規事業の場合】は、財政負担以外において、事業を実施しなかった場合の影響が大きく、本事業以外の解決策が見当たらない場合など。』、B評価として、『【継続事業の場合】は、事業進捗に対する影響等を考慮し、事業を休止した場合の影響が大きいが、事業レベルを維持しつつ、改善工夫の余地がある場合など。【新規事業の場合】は、事業を実施しなかった場合の影響は大きくないが、本事業以外の解決策が見当たらない場合など。』、それ以外をC評価としております。

➤効率性についてですが、事務事業の効率性の判断にあたっては、民間委託の拡大を図っているか、類似業務との統合を進めているか、経費削減に向けた改善・工夫を行っているかなどを判断基準としています。

A評価として、『事務事業の質の向上に係る改善・工夫の見込みがあり、さらに経費削減、改革への取組が期待できる場合など。』、B評価として、『事務事業の質の向上に係る改善・工夫の見込み、及び経費削減、改革への取組のいずれかが期待できる場合など。』、それ以外をC評価としております。

➤それぞれ、『評価の主な視点』を参考に記載しておりますので、判断材料のひとつとしていただければと思います。また、メモ欄を設けておりますので、事業ヒアリング時ご活用いただければと思います。

➤資料1に戻っていただき、2枚目の『類型区分別総合評価判定フロー』をご覧ください。総合評価は、継続実施・見直し実施・廃止の3段階の評価であります。類型区分・必要性・緊急性・効率性の結果により、自動的に総合評価が判定されることになっております。

➤市民評価対象となった事業については、資料2「行政評価市民評価ヒアリング資料」を担当部署で作成し、事前に参考資料と一緒に送付させていただくこととなります。また、ヒアリング時には資料3「行政評価市民評価シート」にて評価を行っていただくこととなりますが、委員の皆様には、各事業の必要性・緊急性・効率性の事務事業評価（内部評価）判定が妥当であるかどうかについての評価をしていただくこととなりますので、宜しく願いいたします。

➤本日は10事業選定チェック表を配付させていただきました。協議の中で各委員からこの事業を選定したいとのご意見があった際には皆様にチェックしていただきまして、最終的な10事業選定を行っていただきたいと思っておりますので宜しく願いいたします。

➤以上で説明を終わります。

（杉原会長） 事務局からの説明について、各委員より質問等がありましたらお願いします。ないようですので、各自10事業挙げていただいたものを発表し、そ

それぞれチェック表に記録していただいて、皆様からのノミネートが多い事業から順番に10事業を選定させていただきたいと思います。それでは、飯島委員から順番に、選定してきていただいた事業について発表していただきたいと思います。

(飯島委員) 下野市では個人情報をごどのように保護しているのか、介護保険法が改正されておりますのでそれがどのような事業になっているのか等、私が一番興味のある事業を主に選ばせていただきました。番号で言いますと、2番『石橋庁舎周辺施設整備事業』、5番『基幹系システム管理事業』、38番『社会保障・税番号制度個人番号カード交付事業』、57番『生活困窮者自立相談支援事業』、78番『長寿祝金事業』、81番『通所型介護予防事業』、101番『新規就農総合支援事業』、163番『重要給水施設配水管更新事業』、181番『小学校給食備品整備事業』、220番『文化財保護事業』です。以上です。

(杉原会長) 関口委員、お願いいたします。

(関口委員) 個人的に気になるところを選びました。1番『高速道路利用検討事業』。9番『コミュニティセンター運営事業』、補助金はどのような基準で出されているか確認したいと思いました。15番『公用車管理事業』、31番『駐輪場指定管理者施設管理運営費』。69番『児童館共通事業』、児童館と学童保育が併設されているのはどうかと思っていましたので選びました。82番『介護予防普及啓発事業』、104番『産地パワーアップ事業』、113番『商工業振興事業』、121番『観光振興団体助成事業』、150番『公園施設維持管理事業』。以上です。

(杉原会長) 水上委員、お願いいたします。

(水上委員) 1番『高速道路利用検討事業』、2番『石橋庁舎周辺施設整備事業』、14番『庁舎管理事業』、93番『健康づくりトレーニング事業』。130番『道路アンダー定期点検・修繕事業』、これは単純に勉強させていただきたいと思いました。174番『維持管理費（下水道課）』、226番『スポーツ振興事業』。234番『運動場改修事業』、どのようなことを為さるのかと思いました。公園の整備などが含まれており、公園は都市計画課が所管であると思っておりましたが、スポーツ振興課が所管となっておりましたので、その違いは何なのかお聞きできればと思いました。以上です。

(杉原会長) 長委員、お願いいたします。

(長委員) 47番『ゆうゆう館管理事業』、114番『共通商品券発行事業』、116番『中小企業制度融資促進事業』、118番『道の駅しもつけ管理事業』、147番『サイクリングロード舗装修繕事業』、163番『重要給水施設配水管更新事業』、165番『配水管布設（区画整理）事業』、168番『石綿セメント管更新事業』、171番『浄化槽設置補助事業』、174番『維持管理費（下水道課）』。以上です。

(杉原会長) 大木委員、お願いいたします。

(大木委員) 6番『広報発行事業』、20番『消防団運営事業』、49番『こども医療費助成事業』、51番『ひとり親家庭医療費助成事業』、97番『地元農畜産

物普及事業』、120番『観光プロモーション事業』、126番『高速道路利用検討事業』、154番『緑の基本計画策定事業』、206番『確かな学力と芸術推進事業（中学校）』、224番『しもつけ風土記の丘資料館整備事業』。以上です。

(杉原会長) 園部委員、お願いいたします。

(園部委員) 10番『コミュニティセンター指定管理者施設管理運営費』、15番『公用車管理事業』、22番『非常備消防事務費』、24番『消防防災施設管理事業』、27番『公共施設防犯カメラ整備事業』、34番『特定健康診査等事業費』、38番『社会保障・税番号制度個人番号カード交付事業』、90番『健康増進事業』、91番『がん対策事業』。以上です。

(杉原会長) 中林委員、お願いいたします。

(中林委員) 各部の中から、興味のあるものを選びました。2番『石橋庁舎周辺施設整備事業』、14番『庁舎管理事業』、36番『後期高齢者健診事業費』、70番『児童館整備事業』、80番『訪問型介護予防事業』、101番『新規就農総合支援事業』、117番『雇用創出基盤整備事業』、126番『高速道路利用検討事業』、139番『市道2-7号線他整備事業』、215番『図書館施設修繕事業』。以上です。

(杉原会長) 飯野委員より事前にご報告がございましたので、事務局からお願いいたします。

(事務局) それでは、事前に飯野委員よりご連絡がございましたので、ここで発表させていただきます。4番『情報ネットワーク管理事業』、12番『一般管理事務費』、32番『国民健康保険特別会計繰出金』、44番『ふれあい館管理事業』、45番『ふれあい館改修事業』、80番『訪問型介護予防事業』、103番『農地中間管理機構集積協力金交付事業』、117番『雇用創出基盤整備事業』、120番『観光プロモーション事業』、200番『スクールアシスタント配置事業』。以上です。

(杉原会長) ありがとうございます。最後に私から申し上げます。3番『しもつけ・未来・プロモーション事業』、緊急性・効率性の評価がBになっていること、新規シティプロモーション事業の取組みというところが気になりました。7番『国際交流事業』、中学生のドイツ派遣、以前にも市民評価でどうしてもドイツなのかということでお話を聞いたかと思いますが、国際交流というより日独交流ではないのか、国際交流とは言えないのではないかというお話をしたことを覚えております。その後の行政評価はどうなっているのかなということをお聞きしたかった。依然として日独交流のままなのか、交流の範囲が狭すぎるのではないかという、姉妹都市ということで強化するということは分かるのですが、下野市でどうしてもドイツなのだろうという素朴な疑問がありまして選びました。27番『公共施設防犯カメラ整備事業』、26番から29番までが防犯関係の事業であり、26番『防犯対策事業』について27年度に市民評価を実施しているのですが、近年重要な項目でもあるため、改めて防犯関係の事業を選びました。53番『福祉タクシー事業』、タクシー券の交付を月3枚から4枚にすることから、その増加

分の経費がどのくらいになるのかといった点と、効率性がBとありますが、Aでないとおかしいのではないかと、全部交付してしまえば効率性100%となるはずなので、どういう意味なのかと疑問がありました。69番『児童館共通事業』と70番『児童館整備事業』は関連する事業ですが、選んでおきました。77番『ねたきり老人等介護手当事業』、友人が寝たきりの母の介護において多い時で月100万円くらいかかったという話など、私もいろいろな実態を少しずつ聞いているのですが、下野市のねたきり老人の介護事業の実態はどうかと、そういう気持ちでこの事業を選びました。80番『訪問型介護予防事業』、これについても同様に選びました。126番『高速道路利用検討事業』、これは他にも選ばれた方がいて同じ理由だと思いますが、スマートインターチェンジの設置計画がどういったものなのかという実体が知りたいと思いました。他に、147番『サイクリングロード舗装修繕事業』、233番『国分寺B&G海洋センター改修事業』を選びました。以上です。

それでは、これから10事業の選定を行ってまいります。1から3票の差しかないと思いますが、数の多い方で選んでよろしいでしょうか。その他、この事業を選びたいといった申し出がございましたら調整させていただきます。

(水上委員) 1番と126番の『高速道路利用検討事業』は、所管課が違うだけで同事業ですので、1つとしてはどうでしょうか。

(関口委員) 同事業が2つあるのはどういうことなのでしょうか。

(事務局) 今年度、総合政策課でスマートインターチェンジを準備段階調査個所という段階に持っていこうと考えておまして、今年6月に準備段階調査個所として認定された場合は今年度の事業費を建設課に移して執行する予定でございました。しかし、今年6月に準備段階調査個所に認定されませんでしたので、来年度は引き続き認定作業と併せて、認定後の現地調査、測量・基本設計などの経費として29年度は経常しております。ダブルで経常してあるのは、今年度は総合政策課で事務を実施しており、来年度のどの時点で建設課に移管するかが未定でありますので、予算上は片方にのみ計上しますが、事務事業一覧の中では両方の課で載せているということです。おそらく建設課での予算計上になるだろうと思われま。議会の方には、位置的なものなど説明しておりますが、詳細な位置の確定には至っていない状況であります。地元にはいぶん波及が及ぶ可能性がございますので、事業化前に詳細な図面を提示するのは適切ではないと考えております。接続道路については明確にしておりますが、どのようなルートで接続するかは今のところ未定であります。

(杉原会長) どこでもスマートインターチェンジを設置する場合は、必ず地権者の反対運動があったり、いろいろ誘致運動があったりといへんなのですが、まだ未定でありますので、ここで詳しく述べられるのか、ざっくりとしたプランだけお話しするだけなのか、それだとここで時間かけて聞く意味がないわけですか。

- (事務局) 詳細ということではないが、事務手続きについては詳細にご報告できると思います。そういうことであれば、建設課では現状を把握しておりませんので、総合政策課の方で説明させていただければと思います。
- (大木委員) これについては、まだ未定の部分が多いので、来年度か再来年度の市民評価で実施した方がいいということはないのですか。市民評価の対象となれば、委員から細かい質問などが出てくると思われますが、そのあたりは大丈夫でしょうか。
- (事務局) 事務手続きなどの現状の説明であれば十分できると思います。ただ、先ほども申し上げましたとおり、詳しい方針・図面などにつきましては、議会にも提示しておりませんので、ご了承願いたいと思います。
- (杉原会長) 事務説明といたしますと、スマートインターチェンジの必要性とか、国土交通省とのこれまでのやりとり、これからのやりとり、その程度でありますよね。委員の皆様が、それに興味があるかどうかだと思います。おそらく、これまでの経過だけなのですよ。
- (事務局) 今後、準備段階調査個所に認定されるのに、どのような障害があつて、現在どう対処しているのかということは説明できると思います。
- (関口委員) このようなスマートインターチェンジは、他にあるのですか。
- (事務局) スマートインターチェンジでいきますと、通常はサービスエリアに設置してあり、本線直結となるとあまり例がありません。
- (杉原会長) 今、東北自動車道の大谷の方に1つ計画されております。
- (長委員) この事業については、聞いておいた方がいいのではないかと思います。
- (杉原会長) 私も同様に、具体的な計画図など提示できるはずがないと思っておりますので、この関東近辺のスマートインターチェンジが何か所くらいで、既に設置されたものや先ほどの大谷インターのように計画中のものが、どういった理由で設置あるいは計画されているのか、可能であればそういった話を教えていただければと思います。下野市民の方はたいへん興味を持つ事業であると思いますので、5名も候補に挙げておりますので、1番『高速道路利用検討事業』を採用するということにします。次に、3票ということで多かったので、2番『石橋庁舎周辺施設整備事業』と80番『訪問型介護予防事業』でよろしいでしょうか。次に2票の事業が12事業ありますので、その中から選ぶこととします。この12事業の中から、どうしてもこれを市民評価対象にしたいという主張がございましたら、もしくは、自分で候補としたが他の事業にしたいとの意見がございましたら、お願いいたします。
- (関口委員) 69番『児童館共通事業』と70番『児童館整備事業』を1つとしてはいけないのでしょうか。児童館ということでどちらも同じようなものだと思うのですが。
- (杉原会長) 私は、両方選んでいますので、どちらかキャンセルしましょう。事業費が高い方にするなど、どちらがよろしいでしょうか。整備事業の方が前年度と比べると急に高くなっています。
- (関口委員) 私は、69番『児童館共通事業』を選んでいます。整備事業というと、こ

- これは工事費用ですよね。共通事業の方がいろいろあって面白そうです。
- (杉原会長) それでは、70番をキャンセルして、69番『児童館共通事業』にします。
- (飯島委員) 可能であれば、38番『社会保障・税番号制度個人番号カード交付事業』をお願いしたいと思います。新しい事業でありますし、どのように対処していただいているのかなと思いました。
- (杉原会長) 新聞でも全国で120万件がまだ交付されていないとありました。あまり良くないですね。下野市では何パーセントぐらいでしょうか。
- (事務局) 下野市では、28年9月現在で3,962枚の交付があり、交付率6.6パーセントとなっております。
- (飯島委員) ただ、本人確認がいろいろな法律で厳しくなっていますので、個人番号カードがないとたいへんなことになるだろうなと思っております。
- (杉原会長) 飯島委員からの強い申し出もございますので、皆様、よろしいでしょうか。市民にも関心のあるものでしょうから、38番『社会保障・税番号制度個人番号カード交付事業』を決定とします。他に何かございますか。園部委員どうぞ。
- (園部委員) 新庁舎が完成したことで、公用車の管理というか、今までは3庁舎に別れて配備されていた公用車の数が、整理されたのかどうか気になりました。今までのような車両数は必要でないのではないかと思います。
- (杉原会長) 関口委員も選ばれておりますが、どうでしょうか。
- (関口委員) まったく同意見であります。
- (杉原会長) それでは、15番『公用車管理事業』を決定いたします。あと4事業です。
- (中林委員) 101番『新規就農総合支援事業』にとっても興味があつて選んだのですが、現在、下野市の農業が縮小してきている中で、新しく農業をする方を支援するという事業で、どのくらいの人が、何をするために農業を始めようとしているのかといったところを、今後の希望という形で詳しく知りたいと思いました。
- (杉原会長) 飯島委員も同じ意見でしょうか。
- (飯島委員) やはり、下野市と言えば、農業が主だと思うのです。知人にサラリーマンを止めて農業をやられた方がいますので、どういう方が新しく農業を始められ、また、その支援の方法など知りたいと思いました。
- (杉原会長) 104番『産地パワーアップ事業』など類似したものもありますが、よろしいでしょうか。101番『新規就農総合支援事業』を決定します。
- (園部委員) 続けて申し訳ございませんが、27番『公共施設防犯カメラ整備事業』ですが、これは4年計画と記載があつて、防犯カメラというものは緊急に必要なものではないのかと感じました。安全面を考えればすぐにでも設置した方がいいのではないかと思いますので、4年計画とした理由など聞いてみたいと思いました。
- (大木委員) 私の方は、120番『観光プロモーション事業』を選びました。第2次総合計画の中で重点事業となっていることと、平成29年度の事業費が28年度の5・6倍になっていること、そのあたりを聞きたいと思いました。また、事業目的など見てみますと、かなり詳細に書かれており、「東京圏か



ら割引料金で下野市に来てもらう」ということも考えているようなので、どのようなものなのかということで選びました。

- (杉原会長) それでは、園部委員の提案ですが、いかがでしょうか。
- (水上委員) 一旦保留扱いとして、他の方の提案を伺ってから、最後に調整したらどうでしょうか。
- (杉原会長) そうですね。残りは3事業です。
- (関口委員) 私は選ばなかったのですが、14番『庁舎管理事業』は、庁舎は完成したばかりですので、様子を見た方がいいのではないかと思います。
- (中林委員) 私が14番を選んだ理由は、事業費が28年度と比べると29年度が5倍くらいになっているからです。他の庁舎の維持管理も含まれているのかもしれないませんが、もし新庁舎の分だとしたら、完成後2年で維持管理費が5倍になるのはなぜだろうと思いました。夏の冷房代などどうしているのか、みんな心配していることもあり、とても気になりました。
- (関口委員) 事業目的に、本庁舎及び各施設の維持管理と書いてあります。
- (事務局) 新庁舎の管理については、年間約1億円かかるという話を総務人事課から伺っております。現在、国分寺庁舎と石橋庁舎にはイントラネットのサーバー等が入ってしまっていて、そのために電気料や警備費が掛かっております。そういった部分が大きく占めているのではないかと思います。それから、2番『石橋庁舎周辺施設整備事業』で29年度8,200万円計上されておりますが、これは石橋庁舎の中にある地域イントラネットのサーバー等に移設する経費であります。庁舎を取り壊すものではなく、サーバー移設するだけの経費8,200万円でございます。
- (関口委員) そうしますと、あまり意見も言える余地もなく面白さに欠けますので、外してはどうでしょうか。壊したうえで、その後どうしていくのかといった内容かと思っておりました。
- (事務局) 南河内庁舎につきましても、イントラネットの拠点がございまして、それは取り壊すと同時に北側の駐車場にあるコンテナに移設をしており、こちらでも7,000万円ほど掛かっております。
- (杉原会長) そうですね、あまり議論の余地もなさそうなので、2番『石橋庁舎周辺施設整備事業』を外すことにします。14番『庁舎管理事業』も同じように対象から除外することにします。それでは、残り4事業であります。
- 174番『維持管理費(下水道課)』ですが、選んだ理由はなんだったのでしょうか。
- (水上委員) 私が174番を選んだのは、基本的な市の業務というものをまだまだ聞かせていただきたいというのが理由です。計画的な維持管理と下水道管の全体的な図面みたいなものや、また、去年のような豪雨があった場合の影響など防災的な側面も含めて伺えればと思いました。
- (事務局) これについては、事業概要に記載のあるとおりの内容であり、調整池あるいは管路、流域下水道の管理負担金などがあります。
- (杉原会長) 毎年同額で維持管理ができているということが、逆の言い方をしますと、あんまり問題が出てこないのではないかと思います。毎年ばらつきがあ

れば、災害対策費と何か関係があるのか等考えられるのですが、ここにおいては、ルーティン化している管理経費ですので、特別なものはないのではないかと考えられます。

(事務局) 現在、残りの事業を2票ノミネートがあった事業の中から選んでいただいておりますが、1つの部署に片寄らないように、また、各部1事業は対象となるようお願いいたします。2票以上に教育委員会の事業がございませんので、調整のほどよろしくをお願いいたします。

(大木委員) 117番『雇用創出基盤整備事業』ですが、事業費が300万円から2,000万円に上がっており、選ぶと思ったのですが、事業目的を見ますと、産業団地造成し新規企業の立地促進を目指すという、雇用創出というより企業誘致という内容であったため、選択しませんでした。

(中林委員) 私は、逆に雇用創出のために産業団地を造って企業を誘致するというのだと思います、市として人に戻ってきてもらうための雇用の場所を作りたいとありましたので、そのための1つの方策なのではないかと思いました。どの辺りに、どのくらいの規模のものを考えて、産業団地造成・企業誘致をしたいのか聞きたいと思い選びました。現在問題となっているのは、大学生になって市を出て行った後、下野市に帰ってこないケースが多く、それは近辺に雇用の場がないのが大きな理由の1つであるとありました。その問題の対応策としての事業ということで、とても興味がありました。

(杉原会長) 一般論で言うと、整地をして基盤を整備しておく、企業はそこに工場を建てたりできるので、運送などの事情もあるのですが、整備しておかないと、いくら誘致しても企業に来てもらえない状況であります。ということで、将来大きくなりそうな計画であると思われませんが、計画としていろいろ聞いても大丈夫なのでしょうか。

(事務局) これについては、仁良川地区など約50ヘクタール程度を候補地として考えており、計画としてもスケジュール等出ていますので大丈夫です。

(杉原会長) これは、たいへん将来性のある事業であると思われれます。117番『雇用創出基盤整備事業』を選ぶことでよろしいでしょうか。それでは、残り3事業となりますが、教育委員会の事業を優先的に選びたいと思います。

(中林委員) 私は、以前南河内図書館に行ったとき、あまりにもかわいそうな図書館だったので、215番『図書館施設修繕事業』に興味があり選びましたが、224番『しもつけ風土記の丘資料館整備事業』の方に替えさせていただきたいと思います。県から市に移管されて2年経ちましたが、庭が整備されたり、トイレがきれいに整備されたりと、この2年間でとても感じがよくなりました。この後、資料館の整備をするということであれば、事業内容を聞いてみたいと思いました。

(杉原会長) ということですが、皆様いかがでしょうか。教育委員会の方で何か他にありませんでしょうか。私は、233番『国分寺B&G海洋センター改修事業』の事業費が高額になっておりますので、確認しておく必要があると思いました。改修事業と言いますが、将来どうなっていくのか、どんなメリットがあるのかということを知りたいと思って選びました。

- (水上委員) 私は234番『運動場改修事業』を選びましたが、発想としては杉原会長と同じなので、233番『国分寺B&G海洋センター改修事業』に替えます。
- (杉原会長) 教育委員会から2事業候補が出ましたが、いかがでしょうか。
- (事務局) 224番『しもつけ風土記の丘資料館整備事業』は、記載のとおり、甲塚古墳から出土した埴輪等について、29年度に国の重要文化財の指定を目指しておりますが、資料館が重要文化財を展示できるような施設になっていないということで、改修のための設計業務委託を29年度は計上しております。要は、金庫的な、十分警備が行き渡るような強固なものに改修するというで聞いております。233番『国分寺B&G海洋センター改修事業』については、昭和57年建設ということで、もともとB&G財団で整備していただいて、国分寺町が寄付を受けたものでありますが、建設後30年経っていますので、引き続きB&G財団の助成金を受けながら改修していくものであります。
- (杉原会長) ほとんど改修事業ですと、議論の余地はないのかもしれませんが。他に、教育委員会の方で何かございますでしょうか。
- (大木委員) 私も、224番『しもつけ風土記の丘資料館整備事業』を選んだのですが、教育委員会の事業の中で、事務事業評価の必要性・緊急性・効率性においてAが揃っているものがあまりないのです。その中で、全部A評価である224番『しもつけ風土記の丘資料館整備事業』を選びました。
- (杉原会長) 教育委員会から2事業提案されまして、それぞれ2票であります。ここで、他の部で2票挙がった事業についても整理しておきます。27番『公共施設防犯カメラ整備事業』、120番『観光プロモーション事業』、147番『サイクリングロード舗装繕事業』、163番『重要給水施設配水管更新事業』、174番『維持管理費(下水道課)』、ここに教育委員会の先ほどの2事業、224番『しもつけ風土記の丘資料館整備事業』、233番『国分寺B&G海洋センター改修事業』を加えまして、この中から残り3事業を選ぶということになります。
- (飯島委員) 163番『重要給水施設配水管更新事業』は、災害があった場合に避難所が断水とならないようにと、災害対策のように書いてありましたので、私は選びました。東日本大震災の時に、下野市でもしばらく水道に不具合がありましたので、上水道も下水道も災害の時にはどうなってしまう、どう対処するのかなと思ったのです。
- (関口委員) 120番『観光プロモーション事業』を大木委員が選んでおられましたが、残りの候補の中では、これがいいのではないかと思います。
- (大木委員) これは、総合計画の重点事業の区分の中で「街いきいきプロジェクト」として実施していく事業とありますので、選びました。
- (杉原会長) 『観光プロモーション事業』は、プロモーションということで、何をやるのだろうとたいへんおもしろそうですね。これを選ぶことにしましょう。それから、建設水道部と教育委員会から1事業ずつ選ぶことにしましょう。
- (長委員) 私は、147番『サイクリングロード舗装繕事業』を選びましたが、取

り下げます。建設水道部の事業だと、163番『重要給水施設配水管更新事業』の方がいいのではないかと思います。

(杉原会長) それでは、163番『重要給水施設配水管更新事業』を選ぶこととし、あとは、教育委員会から1事業であります。どれにいたしましょうか。

(飯島委員) 私は220番『文化財保護事業』を選んだのですが、それは、風土記の丘や薬師寺の資料館など含めたものですので、224番『しもつけ風土記の丘資料館整備事業』に替えさせていただきます。

(杉原会長) それでは、224番『しもつけ風土記の丘資料館整備事業』が3票となりましたので、決定とします。それでは、10事業すべて出揃いましたので、改めて発表いたします。80番『訪問型介護予防事業』、1番『高速道路利用検討事業』、15番『公用車管理事業』、38番『社会保障・税番号制度個人番号カード交付事業』、69番『児童館共通事業』、101番『新規就農総合支援事業』、117番『雇用創出基盤整備事業』、120番『観光プロモーション事業』、163番『重要給水施設配水管更新事業』、224番『しもつけ風土記の丘資料館整備事業』ということです。それでは、10事業選定お疲れさまでした。この10事業について、事務局から何かございますか。

(事務局) 特にございません。

(杉原会長) 委員の皆様から、他に意見等ございますか。ないようでしたら、本日の会議は終了いたしますが、ヒアリング資料等は後日郵送されますので、ご確認いただき、次回は11月2日の委員会でございます。11月2日からロングランでヒアリングが始まりますので、時間も長くなりますので、体調くれぐれもお気をつけてください。それでは、事務局の方にお返しいたします。よろしくお願いいたします。

#### (4) その他

(事務局) 本日の会議録については、調整次第、郵送にて送付させていただく予定です。内容等をご確認いただき、訂正等については返信用封筒を同封いたしますので、あらかじめご報告いただき、次回会議において確認したいと思いますのでよろしくお願いいたします。また、11月2日の次回委員会から『市民評価対象事業ヒアリング』を毎週1回、合計4回、実施していきます。資料につきましては、調整でき次第、郵送させていただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

#### ○閉会

(事務局) 以上をもちまして、第2回下野市行政改革推進委員会を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長

署名委員

署名委員